

通し番号	4497
------	------

分類番号	22-01-11-03
------	-------------

(成果情報名) 神奈川県内における有機農業経営の類型化	
<p>[要約] 県内の有機農業経営は、有機JAS認証、出荷先、作目を因子として6類型に分類される。複数野菜－消費者直販型は、「自分や家族の健康のため」をきっかけとし、経営全体で有機農業に取り組む一方で、非JAS認証－団体出荷型は、「消費者の要望」をきっかけとし、経営の一部で取り組むなど類型により経営上の位置付けが異なる。</p>	
(実施機関・部名) 農業技術センター・経営情報研究部	連絡先 0463-58-0333

[背景・ねらい]

都市部における有機農業経営は、産地と消費地が離れている地方の有機農業経営とおかれている経営環境が異なる。しかし、県内における有機農業の経営像は明らかとなっていない。そこで、その実態を把握し、類型化する。

[成果の内容・特徴]

- 1 旧農業振興課が、平成21年度実施したアンケート調査（結果は平成21年度神奈川県有機農業実態調査結果報告書<http://www.pref.kanagawa.jp/uploaded/attachment/34224.pdf>にまとめられている）のデータ(84件)を用いて、有機JAS認証の有無、消費者への直接販売の有無、団体への出荷の有無、複数の野菜の栽培の有無、キウイの栽培の有無を因子として階層的クラスター分析を行うと、県内の有機農業経営は6類型に分類される（図1、表1）。
- 2 (B) 複数野菜－消費者直販型は、有機栽培面積、有機農産物販売額について、回答者に占める割合が最も高い（表2）。
- 3 (A1) 非JAS認証－団体出荷型および (A2) JAS認証－団体出荷型は全面有機栽培の実施農家割合が低い一方で、(B) 複数野菜－消費者直販型のそれは高く、経営の一部で有機農業に取り組むキウイ栽培経営と経営全体で有機農業に取り組む野菜栽培経営の違いが際立っている（表2）。
- 4 有機農業を始めたきっかけについて、(A1) 非JAS認証－団体出荷型は「消費者の要望」の割合が高い一方で、(B) 複数野菜－消費者直販型は「自分や家族の健康のため」(D1) 水稲単作－消費者直販型は「自然環境の大切さを考えたから」の割合が高く、類型により違いがある（表3）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 階層的クラスター分析は、ソフト R を使い、ウォード法により実施した。
- 2 回答者の48%が複数の野菜を栽培し、39%がキウイを栽培していることから、それぞれ因子として採用した。

[具体的データ]

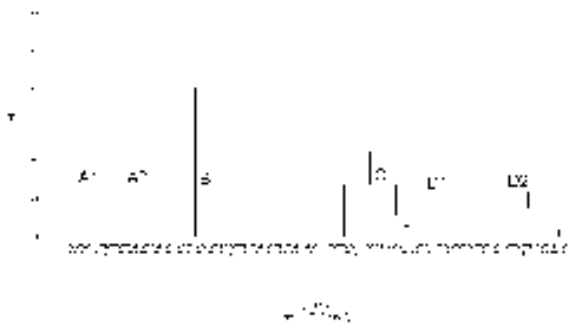


図1 クラスタ分析により作成された樹形図

表1 クラスタ分析による県内有機農業経営の分類

類型記号	型名	件数	分類に用いた因子 該当率 (%)				
			有機JAS認証を取得している	キュウイ栽培をしている	複数の野菜を栽培している	消費者へ直接販売している	団体へ出荷している
A1	非JAS認証－団体出荷型	8	0	100	0	0	100
A2	JAS認証－団体出荷型	12	100	100	0	0	100
B	複数野菜－消費者直販型	25	0	0	100	100	0
C	複数野菜－団体他出荷型	13	8	8	100	31	46
D1	水稲単作－消費者直販型	9	0	0	0	100	0
D2	その他型	17	47	71	12	47	12

注:1) 類型記号は類似度に基づき、型名は各因子の該当率を参考に、便宜上名づけたもの。
2) 「水稲単作－消費者直販型」には、野菜単作や水稲・果樹複合も含まれる。

表2 各類型の特徴

類型記号	型名	回答者に占める割合 (%)		平均経営耕地面積 (a)	平均有機栽培面積 (a)	全面有機栽培の実施農家割合 (%)	経営当有機販売金額 (万円/戸)	有機取組み年数 (%)		
		有機栽培面積	有機農産物販売額					5年未満	5～9年	10年以上
A1	非JAS認証－団体出荷型	5	6	136	39	25	130	0	75	25
A2	JAS認証－団体出荷型	12	16	223	56	8	200	0	33	67
B	複数野菜－消費者直販型	37	32	85	83	96	198	28	44	28
C	複数野菜－団体他出荷型	15	12	86	67	69	155	38	31	31
D1	水稲単作－消費者直販型	17	19	119	107	78	350	11	33	56
D2	その他型	13	16	129	45	35	148	18	0	82

注: 「全面有機栽培の実施農家割合」とは、経営耕地全体で有機栽培に取り組んでいる農家の割合を示している。

表3 類型別有機農業を始めたきっかけ (%)

類型記号	型名	消費者の要望	自分や家族の健康のため	自然環境の大切さを考えたから	安全な食品を生産したいから	おいしい本物の味を提供したいから	その他
A1	非JAS認証－団体出荷型	75	13	25	50	25	0
A2	JAS認証－団体出荷型	42	25	33	58	8	17
B	複数野菜－消費者直販型	12	76	52	56	32	40
C	複数野菜－団体他出荷型	8	54	46	77	38	23
D1	水稲単作－消費者直販型	22	56	67	44	44	33
D2	その他型	12	29	29	76	41	6

注 複数回答あり。

[資料名] 平成22年度試験研究成績書(経営情報)

[研究課題名] (1) 有機農業経営の実態把握と経営モデルの作成

ア 環境保全型農業の経営的評価 (ア) 有機農業経営の類型化

[研究期間] 平成22年度

[研究者担当名] 佐藤忠恭、稲毛正彦